

知れば知るほどハワイはもっと楽しい ~文化や歴史を学んで「ハワイ通」になろう!

アロハプログラム ニュースレター

Ka Leo Aloha the voice of aloha

HAWAII TOURISM

JAPAN

ハワイ州観光局

Hawai'i Tourism Japan
Aloha Program Newsletter

Vol.4 2019
October



www.aloha-program.com



モダンから伝統まで話題たっぷり ハワイのアートから 目が離せない!

最近とくに注目を集めている、ハワイのアートシーン。
ハワイ文化が香る伝統的な工芸品はもちろん、
若手アーティストたちが生み出す新しい作品が次々台頭し、
バリエーション豊かなアートが身近に感じられると話題です。
芸術の秋、ハワイの今旬アートに触れてみてはいかがでしょうか。



1.カカアコのウォールアートはさらに注目を集める。2.「Art+Flea」などロコアーティストに出会える場も増えた。3.4.様々なアート作品はお土産にも人気。



5.コンテンポラリーアーティストが集まる「POW! WOW! HAWAII!」の創設者ジャスパー・ウォン氏。カカアコから世界へ向け活動している。

ハワイのアートを満喫
美術館巡りが楽しい!

ハワイ州立美術館 Hawaii State Art Museum

ダウンタウンにある美術館。古典作品からモダンアートまでバラエティ豊かな展示が入館無料で楽しめます。館内にMORI by Art + Fleaのショップもあり。



住所/250 S Hotel St. 電話/808-586-0900
営業時間/10:00~16:00 第一金曜日は18:00~21:00もオープン(日・祝休み)
HP / http://sfca.hawaii.gov/#art

ホノルル美術館 The Honolulu Museum of Art

アメリカ、ヨーロッパから、アジア、アフリカなどの作品を多数収蔵。毎月最終金曜日「Art After Dark」イベントも開催。



住所/900 S Beretania St. 電話/808-532-8700
営業時間/火~日10:00~16:30(月・祝休み)
HP / honolulumuseum.org

近年、ハワイを語る上で欠かせない要素のひとつとなっているのが「アート」。カカアコエリアを彩る様々な「ウォールアート」や、若手クリエイターが活躍するアートイベント、新たなムーブメントが内外から注目を集めています。

ダウンタウンで毎月第1金曜に行われる「ファースト・フライデー」や「ホノルル美術館」で毎月テーマを変えて開催される「アート・アフター・ダーク」など、様々なアートイベントが定期開催されるようになり、2011年には、倉庫街だったカカアコ地区を舞台に「POW! WOW! HAWAII!」の動きがスタート。個性的なウォールアートが街中にあふれ、アートシーンと地域経済の

活性化を目指す年に1度のイベントには、世界中からアーティストが集います。

また、2010年にアリソン・イシクニらが始めた「Art+Flea (アート+フリー)」は、地元アーティストらの作品をシェアするユニークなアーバンマーケットイベント。独特の芸術性と情熱が若者を中心に話題となり、現在は常設店「MORI by Art + Flea」をサウス・シリア・マーケットとホノルル州立美術館に構えています。

ワイキキやアラモアナなど、旅行者が気軽にアクセスできるアートギャラリーも次々オープン。個性的なアート作品はもちろん、普段の生活に取り入れやすいファッションやアクセサリー、雑貨にもハワイのエッセ

ンスが感じられると評判です。さらに、各ホテルのロビーやショッピングセンター、カフェなどの壁画にも、ニック・カッチャー、クリス・ゴトウなど、ハワイの雰囲気やサーフカルチャーを感じさせながらも独特の世界観を持つアーティストの作品が続々登場しています。どうぞ、お見逃しなく!

もちろん、モダンなアートだけでなく、ハワイの伝統工芸に触れる機会も多数あります。ハワイ固有種の植物、ハラを編んで作る「ラウハラ」や、木の皮に独特の模様を付けて布のように用いる「カパ」など、古代ハワイアン芸術品は、現在のアートにも大きく影響を与えています。同じく、ハワイアンキルトもハワイを代表する芸術文化のひとつ。細かい作業を重ねて作り上げられたキルトにはハワイの歴史文化や植物などが表現され、奥深い世界が広がります。博物館などを訪れてその美しさを堪能するのもいいし、ワークショップなどに参加して実際に制作に挑戦してみるのもおすすめ。ハワイの最新アートシーンを、ぜひ感じてみてくださいね。



6.丁寧に編まれたラウハラ編みの帽子はハワイ島で見発見。7.ハワイアンキルトもハワイの大切な伝統工芸品。8.ピショップ博物館には貴重な文化資料が数多く展示されているのでぜひ見学を。

クアロアランチハワイのハワイ文化リソースマネジャーであり、アロハプログラムのアドバイザーも務めるジョナサン・クアヒビ・モニズさん。広大な聖地、クアロアの文化や歴史について、語っていただきました。

Jonathan Kuahiwi Moniz

ジョナサン・クアヒビ・モニズ

オアフ島西部のワイアナエ出身。ヒーラーだった祖母の影響で、幼少より深いハワイ文化に触れて育つ。ハワイ大学マノア校でハワイ文化を学んだ後、カメハメハスクールのプログラムにてハワイアンリソースコーディネーターに。ハワイ語や自然、音楽などハワイの様々な文化に精通し、現在はハワイ文化継承のため、クアロアランチハワイのハワイ文化リソースマネジャーとして活躍している。

守られてきた聖地の歴史 実際に訪れて感じてほしい

オアフ島北東に位置するクアロアランチは、古くは王族のみが立ち入りを許された聖なる場所。4000エーカー（東京ドーム450個分）という広大な敷地に、手付かずの自然や奥深い歴史、文化がしっかり守られている、特別なエリアです。この素晴らしさを守り、多くの人にシェアすることが私の使命だと思っています。

クアロアランチは現在一般公開され、12のアクティビティを行っています。中でも私がぜひ体験してほしいと思うものが4つあります。古代ハワイアンが聖なる儀式を行ったとされるパー・イミ・ナオアアウなどを実際にまわる「ジャングルエクスペディションツアー」、人気ハリウッド映画の撮影

場所を巡るとともに、ハワイアンのお洒落な生活様式も感じられる「映画ロケ地ツアー」、800年前に作られた養魚池を渡り、その先のシークレットビーチでクアロアのパノラマビューやモコリイ島（チャイナマンズハット）を望む「オーシャンボヤージュツアー」、さらに忘れてはならないのが、ウル、タロ、スイートポテト、パイナップルやコーヒー、バナナなどが実る園内ガーデンを巡りながらハワイの文化を体感する「テイストオブクアロアツアー」です。これらのツアーは、単にアクティビティとして楽しめるだけでなく、この土地への感謝や尊敬の念を再確認したり、文化的な慣習を学んだりでき、とても奥深いプログラムなのです。



広大なクアロアの隅々までを知り尽くすクアヒビさん。アロハあふれる笑顔が魅力的だ。

ツアーの内容管理やガイドスタッフの教育には私もコミットし、クアロア特有の文化と価値観を体験してもらえ「センス・オブ・プレイス」を指導。しっかりしたホスピタリティでゲストの皆さんをお迎えできるように、心がけています。

日本の文化とハワイの文化は、自然を崇拝し大切にしている共通点がありますよね。日本の方はハワイの文化に非常に興味を持ってここを訪ねられていると感じます。クアロアで本当のハワイ文化を体験し、それを持ち帰ってもらえたら嬉しい。私たちは、常に新しい魅力をお伝えできるよう努力を続けているので、何度来ていただいても新たな発見があるはずですよ。



クアロアの自然や文化を体感！カアアヴァ渓谷でハワイアンの伝統的共同生活地域アプアアも見られる「映画ロケ地ツアー」は特に人気。



クアヒビさんの
インタビュー動画は
こちら



今、知っておくべきこと

ハワイを守る人々

1903年、7人の女性によって設立された「ドーターズ・オブ・ハワイ」はハワイの歴史的建築物を保存し後世に伝えることを目的とする非営利団体。現在「エマ女王の夏の離宮」と「フリヘエ宮殿」を管理しています。

大切な歴史的シンボルを守り 伝える女性たちの熱き想い

ハワイで初めて、歴史的建築物を保存することの大切さを認知させた団体の一つ。それが「Daughters of Hawai'i (ドーターズ・オブ・ハワイ)」です。ハワイの古き良き伝統、さらにハワイの精神と史跡を維持し、後世に継承していくことをミッションとする非営利団体で、1903年に7人の女性によって設立されました。

ドーターズ・オブ・ハワイが管理・保護しているのは、オアフ島ホノルルにある「エ

マ女王の夏の離宮」と、ハワイ島カイルア・コナにある「フリヘエ宮殿」という2つの歴史的シンボル。どちらも、ハワイの王族たちにゆかりの深い特別な建物です。

「エマ女王の夏の離宮」は、ハワイ語でハーナイアカマラマとも呼ばれ、1857年から1885年までエマ女王と夫のカメハメハ四世、息子のアルバートエドワート王子が、夏の別荘として幸せな時を過ごした建物。ワイキキやアラモアナエリアに比べて少し気温も低く緑に囲まれたこのエリアは、避暑地としても最適だったので。現在は国家歴史登録財に認定され、博物館として多くの訪問者を迎え入れています。ここに展示されている王族の調度品や家具の修復も、ドーターズ・オブ・ハワイによって行われており、訪問者は真のハワイの文化に触れる機会を持つことができるのです。



「エマ女王の夏の離宮」は、1800年中頃エマ女王の別荘として使われた宮殿。オアフ島ホノルル、ヌウアヌの谷にある。

「フリヘエ宮殿」は、ハワイ島カイルア・コナのアリイ・ドライブ沿いにある宮殿です。こちらも、その昔はハワイ王族のための夏の別荘だったものですが、現在は博物館に。カラカウア王とカピオラニ王妃時代のヴィクトリア調の調度品やハワイ王族の遺品などが展示され、世界中の多くの人を訪れる貴重なスポットとなっています。

歴史的な出来事を守り伝えていくために立ち上がった7人の創業メンバーの意思を、現在に受け継ぐドーターズ・オブ・ハワイ。ローカルはもちろん旅行者にも、このハワイの文化や歴史を体感して持ち帰ってもらいたいと、エマ女王の夏の離宮ではウクレレ、フラ、キルティングなどのレッスンも行っています。日本語でのガイドツアーもあるので、参加してみたいかでしょうか。ハワイ王族が過ごした日々を、ぜひ、感じてみてください。



ハワイ島の「フリヘエ宮殿」でも宮殿内の見学ツアーを催行。

ドーターズ・オブ・ハワイ
Daughters of Hawai'i



E-mail / info@daughtersofhawaii.org
URL / http://daughtersofhawaii.org/
TEL / 808-595-6291



ドーターズ・オブ・
ハワイの詳細はこちら



知れば知るほど楽しい

ハワイのカルチャー

ハワイの伝統的手芸であるラウハラはバスケット、帽子、マット、ランチョンマット、バッグ、ブレスレットなどで見ることができます。一つ一つの手作業は貴重な芸術品になります。

時代を超えて愛される ハワイの芸術品 ラウハラ



キュレーター
藤原 アン小百合 Sayuri Anne Fujiwara

ハワイ、日本に多くの生徒を持つハワイアンキルトの講師。2011年「キルトハワイ」でグランプリを受賞し、キルト関連の著書多数。イオラニ宮殿の日本語ドーナツも行う。



1. 細長い葉が、ラウハラ工芸品の材料 2. 1915年アンティがハラを編む様子 (Photos: Courtesy of Hawai'i State Archive) 3. 1964年アンティが楽しそうに作業 (Photos: Courtesy of Hawai'i State Archive) 4. 手間のかかるラウハラバスケット

ラウハラの
コラムはこちら



ハワイの手作り工芸品としてのラウハラはハワイ固有の植物のハラの葉でできています。ハワイ語でハラが木、ラウは葉の意味があります。ハラには雄と雌の木があり雌の方に大きなパイナップルに似た実が付きます。太平洋の島々では昔からこのハラの葉が強く、柔らかく耐久性があるので、乾燥させ編むという工芸が盛んでした。昔はハワイの王族もラウハラで編まれたマットの上で寝ていました。その当時は、寝具用マット、バスケット、団扇、サンダル、クッション、茅葺屋根、船の帆靴、オーナメントなどもありました。昔の埋葬品の中から発見されたラウハラ工芸品があり、現在の編み方とほぼ同じでした。かなり昔か

らハワイではラウハラ工芸があったようですが、きちんと文献がないので、いつ頃から作られたかは定かではありません。ラウハラ作りには下準備がかかります。ハワイでは枯れて落ちた葉を使うため、乾期の乾燥した時期を選び葉の準備をします。葉は根の部分と先の部分を切り落とし葉の両端に付いている棘を取り除きます。棘は一本づつではなく、葉の筋に沿ってまとめて除きます。竹のローラーを使いたいらにし、そして1週間ほど乾燥させます。さらに葉の芯を除き、ローラーを使い葉を柔らかくし、格子編み、真田編み、三つ編みなどをし、完成品はアートとなり素晴らしい逸品となります。

「知りたいハワイ」が満載！ アロハプログラム・ キュレーターコラム

アロハプログラムには、ハワイ独特の文化・アートや奥深い歴史について、ハワイの専門家がわかりやすく解説するコラムも満載です。知るほどに面白い、ハワイのトリビアもぜひチェックを！



ハワイを感じて楽しめる 話題のイベント

2019年10月～12月

ハワイの伝統を体感できたり、日本とハワイの文化交流を楽しめたり…。ハワイ各島で開催される多彩なイベントをご紹介します。

PICK UP!



ハワイの風を感じて走る 世界最大級の市民マラソン大会 JAL ホノルルマラソン 2019

毎年12月に行われる大人気のマラソン大会。日本をはじめ、毎年世界各国から約3万人のランナーが参加する。早朝5時にアラモアナ公園をスタートし、ダイヤモンドヘッドや海岸線の美しい自然を満喫しながらカピオラニ公園のゴールを目指す。

JAL ホノルルマラソン

12月8日(日)
オアフ島
www.honolulumarathon.jp/2019

フラ・ホオラウナ・アロハ



フラを愛する日本のハラウのために、ハワイで開催されるフラフェスティバル。コンペティションやパーティ、ワークショップなどが行われる。

10月4日(金)～7日(月)
オアフ島
www.hoolauna.com

ハワイ・フード& ワイン・フェスティバル



太平洋地域随一の食の祭典。多くのフードイベントが開催され、世界的シェフやワインメーカーが集結。ハワイの食の魅力を堪能できる。

10月5日(土)～27日(日)
オアフ島、ハワイ島、マウイ島
www.hawaiifoodandwinefestival.com

エオエマラニアラカイ フェスティバル



カウアイに滞在し、ワイメアアラカイをトレッキングしたというエマ女王を称え、コケエ州立公園で開催されるフラと音楽のフェスティバル。

10月12日(土)
カウアイ島 コケエ州立公園
www.kokee.org/index.php?festivals-emalani

マウイマラソン& ハーフマラソン



ハワイ州で最も歴史あるランニングイベント。美しい海岸線沿いを走るコース設定で、距離も5k～フルマラソンまで選べるため人気が高い。

10月13日(日)
マウイ島
www.mauimarathon.com

カウアイ・チョコレート& コーヒー・フェスティバル



ノスタルジックなハナベベの街で行われるイベント。チョコレートやコーヒーのサンプリングや各種エンターテインメントなどを楽しめる。

10月18日(金)～19日(土)
カウアイ島 ハナベベタウン
www.kauaichocolateandcoffeefestival.com

ハワイアンエアライン・メイド・イン・ マウイカウンティ・フェスティバル



マウイ産の野菜や工芸品、アクセサリーなど140店以上のブースが出店。フードトラック、エンターテインメントもあり1日中楽しめる。

11月1日(金)～2日(土)
マウイ島
http://madeinmauicountyfestival.com

コナ・コーヒー・ カルチュラル・フェスティバル



ハワイ島コナで10日間行われるイベント。コナコーヒーの試飲やコーヒーの歴史を学べるプログラムが多彩。エンターテインメントも楽しめる。

11月1日(金)～10日(日)
ハワイ島 コナ
www.konacoffeefest.com

フラ・オ・ナ・ケイキ



5～17歳のケイキ(キッズ)が古典フラやモダンフラの部門で競う、伝統あるコンペティション。マウイ島のカーナバリビーチホテルで開催。

11月7日(木)～9日(土)
マウイ島 カナバリビーチホテル
www.kbhmaui.com/hawaii-culture/hula-o-na-keiki

ハワイフィルムフェスティバル



ハワイで毎年開催される国際映画祭。期間中は、ワールドプレミアや日本未公開作品などが多数上映。詳細はウェブサイトで確認を。

11月7日(木)～17日(日) / オアフ島、21日(木)～24日(日) / ハワイ島・マウイ島・カウアイ島
www.hiff.org

ホノルルシティライツ



ダウンタウンで開催されるホリデーシーズンのメインイベント。巨大クリスマスツリーの点灯式の後、パレードやコンサートなどが楽しめる。

12月7日(土)
※ダウンタウンのイルミネーションは1月1日(水)まで
オアフ島 ダウンタウン(ホノルル・ハレ)
www.honolulucitylights.org

カウアイ島とオアフ島の特別体験 キュレーターとディープな特別時間を

2017年から開催している現地集合型ツアー「アロハプログラム Week in ハワイ」。アロハプログラム ハワイスペシャリスト検定を取得した方だけが参加できる限定ツアーです。今回の舞台は、自然と歴史を堪能できるカウアイ島とオアフ島！

ハワイ現地でスペシャルなプログラムを体験できる「アロハプログラム Week in ハワイ」。2018年秋のハワイ島&マウイ島に続き、今年はカウアイ島とオアフ島で開催されました。今回も、アロハプログラムキュレーターの浅沼正和氏、森出じゅん氏、吉見大介氏、藤原アン小百合氏、ロバーツさゆり氏、ハワイ州観光局が自信を持ってご紹介するスポットが目白押し。アロハプログラム会員の皆さまに、他では味わえない体験をしていただきました。

まずはカウアイ島での2日間から。1960年創立のカウアイ博物館をスタートし、太平洋のグランド

キャニオンとも呼ばれるワイメア渓谷へ。何百年もの時を経て創り出された自然の絶景を堪能



しました。島の食材を使ったジャム作りも盛り上がりました。2日目は、カウアイ島の地産地消を体験。伝統的なハワイアンフードから独自に発展したローカル料理まで、カウアイ島の豊かな食文化に触れました。

3～5日目はオアフ島で各キュレーターが案内するツアーを開催。ピシヨップ博物館の見学から始まり、その後神聖な王家の霊廟ロイヤル・モザリウムを訪問したり、オアフ島の東海岸で四大神やペレ、ヒナなど神々の神話の舞台を巡ったり。ハワイアンキルト教室や「オアフ島西部ミステリーツアー」なども開催され、とにかく盛りだくさんな充実したプログラムとなりました。参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

「アロハプログラム Week in ハワイ 2019」の詳細レポートはこちら



カウアイ島では絶景のワイメア渓谷をはじめ、ハナレイのタロ畑、ハーブ庭園なども見学。地産地消レストランでハワイの食文化にも触れた。

オアフ島ではキュレーターの説明を聞きながら各所を巡り、様々なワークショップも。発見と学びがたっぷりの特別プログラムを体験。



ハワイと金沢のウクレレを通じた こどもたちの文化交流

ウクレレの音楽を通じて、アロハや文化をシェアして世界をつなげたい。ウクレレアーティスト、ジョディ・カミサトが指導するハワイのウクレレ教室「ウクレレ・ハレ」のメンバー（14～24歳）総勢11名が金沢を訪れ、ウクレレイベント「ウクレレパイナ」で地元のウクレレ教室「ジュニア・ウクレレ・オーケストラ」との共演を果たしました。

両メンバーは、2019年3月からインターネットでウクレレでの文化交流を開始し、共同で作詞作曲した「Love sweet love」

（歌詞／英語、日本語、ハワイ語）を制作した仲。今回の滞在では、初対面同士ながらウクレレの合同練習を通じてすぐに打ち解けていました。8月24日に金沢で行われたウクレレパイナでは、大勢のウクレレファンの前で演奏を披露。拍手喝采の大成功を納めました。

「ウクレレパイナ」の詳細レポートはこちら



1.ウクレレパイナで「love sweet love」を披露するハワイ&金沢のメンバー。 2.金沢のキッズと初対面での交流した時の様子。

FROM ハワイ州観光局 ハワイのアートから学ぼう 様々なハワイ文化の 体験プログラムも

アロハ！ハワイ州観光局では、ハワイで話題の若手アーティストの活動を応援するとともに、ハワイ由来の歴史文化を象徴するアートの継承にも注力しています。アロハプログラムでは、ハワイの文化を学んだり体験できるワークショップも用意しているので、ぜひご参加ください。また、2020年にはハワイで「パシフィックアート&カルチャー・フェスティバル (FestPac)」を開催予定。ポリネシアを中心に28カ国の芸術や文化が集結する大きな祭典となる予定です。



ハワイ州観光局
日本支局長
ミツエ・ヴァーレイ



アロハプログラムニュースレターは、
ハワイ州観光局認定サテライト
グループに設置されています。

Webの閲覧はこちらから



無料

アロハプログラムに会員登録して ハワイスペシャリスト検定に挑戦しよう！

ハワイのこと、深く知れば知るほどもっと楽しくなるはず。
大好きなハワイのあれこれ、ちょっと勉強してみませんか？

アロハプログラムとは

「アロハプログラム」とは、ハワイ州観光局が運営する「ラーニングサイト」で、ハワイの歴史、文化、自然などハワイを楽しく学べるプログラムです。専門家による監修のもと、文化や歴史など、幅広くハワイに関する情報を提供しています。

会員登録で受けられる ハワイスペシャリスト検定

アロハプログラム会員になると受けられるのが「ハワイスペシャリスト検定」。初級～上級まで用意された、ハワイ州観光局公式のオリジナル検定試験です。ハワイの文化や歴史など今まで知らなかったハワイを学べます。

中級以上で さまざまな会員特典が！

中級以上を取得するとハワイ旅行中の様々な特典や、日本でのハワイイベントへのご招待も。ほかに会員限定キャンペーンやワークショップ、限定のハワイツアーに参加できるチャンスもあります！